

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名

保育所等訪問支援事業 きらめきの里

○保護者評価実施期間

※2025年度は保育所等訪問支援の実施がないため、保護者評価実施不能

○保護者評価有効回答数

対象者数 0名 回答者数 0名

○従業者評価実施期間

2025年 11月 21日 ~ 2025年 12月 19日

○従業者評価有効回答数

対象者数 2名 回答者数 2名 回答率 100.0%

○訪問先施設評価実施期間

※2025年度は保育所等訪問支援の実施がないため、訪問先施設評価実施不能

○訪問先施設評価有効回答数

対象施設数 0名 回答施設数 0名

○事業者向け自己評価表作成日

2026年 2月 20日

★分析結果

	事業所の強みだと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	更に充実を図るための取組等
1	専門性の高さ	昨年度同様、療育経験の長い保育士が児童発達支援管理責任者、公認心理師資格を有する10年以上の経験を持つ職員が訪問支援員を担っている。また、実施がない中でも研修・研鑽は継続している。	専門的なアセスメントとそれに基づく支援方法について、訪問先職員や保護者が理解できるような平易で一般的なことばでお伝えできるよう心がけている。

	事業所の弱みだと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問実績の少なさ	2024年度に続き、2025年度も訪問実績を挙げられていない。保育所等訪問支援事業を行っていることを広く周知しきれていない状態であり、その点について改善を行っていく必要があると考えている。	配置人員を増強すると共に、同じ法人で運営している福祉・医療の各事業を利用されている利用者さまの中で、保育所等訪問支援を必要としている利用者さまに対しての支援を増やしていく。

事業所名 保育所等訪問支援事業 きらめきの里

公表日 2026年3月2日(月)

		はい	いいえ	工夫していることなど
体制・環境整備	1	2	0	・利用者様に利用を希望していただけるよう、周知を心がけます。
	2	2	0	
業務改善	3	2	0	・事業配置職員だけでなく、法人組織の上長などにもPDCAサイクルに参画する体制をとっています ・第三者評価は実施しておりません。その旨、重要事項説明書に明記し、契約前に事前のご説明を行います。 ・研修については、支援提供において必要不可欠であると考え、研修受講に加え、研修講師として自らの専門性を高められるよう研鑽に努めています。
	4	2	0	
	5	2	0	
	6	0	2	
	7	2	0	
適切な支援の提供	8	2	0	・アセスメントを適切に行えるよう、常に研鑽に努めています。 ・ガイドラインに沿ったサービス提供を心がけています。 ・現時点までにチームでの直接支援や支援前後の役割分担などを行っていませんが、今後必要が生じた時にはチームで連携しながら行ってまいります。 ・対象児本人やその保護者さま、訪問先施設の担当者様の意向については、その思いも併せて丁寧にお伺いするよう心がけています。
	9	2	0	
	10	2	0	
	11	2	0	
	12	2	0	
	13	2	0	
	15	0	2	
	16	2	0	

			はい	いいえ	工夫していることなど
適切な支援の提供	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0	・支援の押し付けとならないよう、訪問先や家庭の実情を把握し、それに沿った形で支援を提供するよう心がけています。
	18	毎回の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	0	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	・関係機関やお子さんの日常を支える関係者の皆さまとの連携は常に心がけるよう努めています。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	
	22	就園・就学時の意向の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0	
	25	日頃からこども状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の会や情報提供等を行っているか。	0	2	
保護者への説明等	27	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	・契約前に当事業に関わることについて、出来るだけ丁寧にご説明し、十分に納得していただけるよう努めています。 ・保護者同士やきょうだい同士の交流の機会の提供は難しい状況です。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	0	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	2	

		はい	いいえ	工夫していることなど
保護者への説明等	33	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 相談の申し入れがあった場合には、迅速かつ丁寧に対応できる体制を作っております。 個人情報の扱いに十分に留意した上で、口頭だけでなく、文書を作成し、わかりやすい説明を心がけています。
	34	2	0	
	35	2	0	
	36	2	0	
訪問先施設への説明等	37	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 訪問先施設に対しては、相手先様のご都合に合わせてながら、間接支援必要十分に行えるよう心がけています。 ご家族に対しても、直接支援や訪問先施設への間接支援の内容について、その都度文書も用いながら共有することを心がけており、ご家族・訪問施設双方が同じ内容を共有できるよう心がけています。
	38	2	0	
	39	2	0	
	40	2	0	
	41	2	0	
非常時等の対応	42	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 各マニュアルや事故報告内容については、児童発達支援センターきらめきの里と共有しております。 身体拘束に関わることに關しては、当事業だけでなく、法人全体として組織的な決定が行えるように体制が整備されていると共に、保育所等訪問支援計画にも明記しています。
	43	2	0	
	44	2	0	
	45	2	0	
	46	2	0	